

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	020102010	予算コード	01049210	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	学校安全緊急対策事業			正規職員数 0.35	国庫支出金 0	有効性	A	引続き、市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行うことが必要である。 児童生徒が巻き込まれる事件や事故が多発する中、保護者のニーズも学校の安全対策に対する要望が増えてきている。学校敷地内だけでなく、通学路等の対策も含めスクールガードリーダーの増員も含めて検討が必要である。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0.5	府支出金 356	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.03	市債 0	妥当性	A		
				歳出(千円)	その他 0	受益者負担	該当なし		
				人件費総額 5,086	一般財源 19,147				
					減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 19,503	緊急性	A	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円) 194			市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。		
対象	活動指標			H29実績	公的関与	A			
特定の市民	対象数	5381		のべ配置人数 4,089.0			実施主体・委託化		
市内13小学校の児童及び教職員							B		
事業の内容	市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。			成果指標	H29実績	透明性	該当なし		
				のべ配置日数 2,727.0		財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
						改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的	小学校において、学校安全管理マニュアルに基づき、来校者のチェック、不審者発見時の通報を行うための要員の配置を行い、学校生活の安全を守る。学校や通学路における子どもの安全確保を図る。			コスト指標	H29実績				
				対象者1人当たりの経費 3,624.4					